

令和元年中の配偶者暴力及びストーカー事案の取扱状況
について（暫定値）

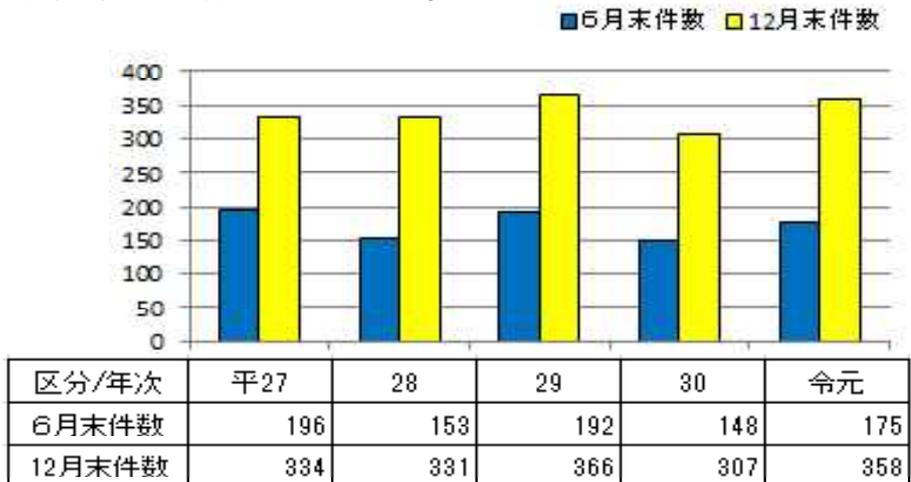
令和2年1月23日
少年女性安全課

1 DV事案

(1) 認知件数

配偶者暴力事案（DV事案）の認知件数は358件と、前年より51件（16.6%）増加した。

認知件数は平成25年の409件が最多、次いで平成29年の366件、令和元年の358件となっている。



(2) 対応状況

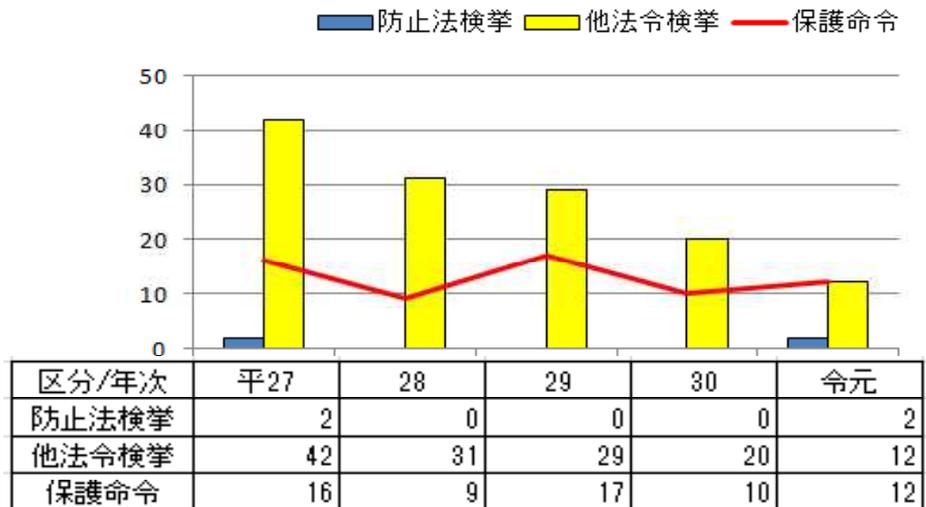
DV防止法での検挙は2件と、前年より2件増加した。

他法令検挙は12件と、前年より8件（40.0%）減少した。

（他法令検挙）

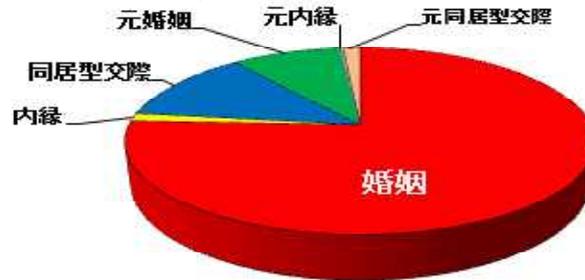
暴行5、傷害7

保護命令発令件数は12件と、前年より2件（20.0%）増加した。



(3) 関係別

被害者と加害者の関係は、婚姻関係が271件（75.7%）、同居型交際が44件（12.3%）、元婚姻が32件（8.9%）となっている。



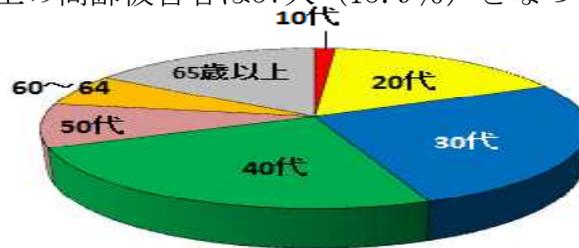
総数	婚姻	内縁	同居型交際	元婚姻	元内縁	元同居型交際
358	271	5	44	32	1	5

(4) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、30代が93人（26.0%）、40代が88人（24.6%）、20代が60人（16.8%）となっている。

65歳以上の高齢被害者は57人（15.9%）となっている。

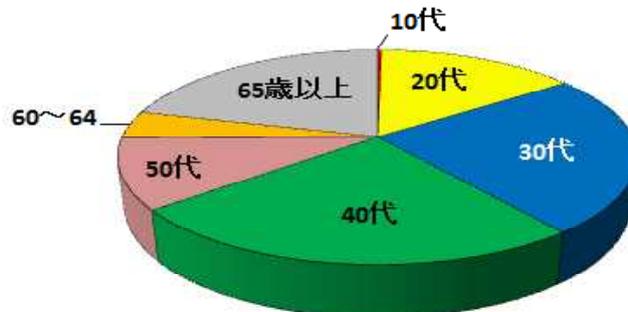


総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上
358	5	60	93	88	32	23	57

イ 加害者

加害者の年代別は、40代が89人（24.9%）、30代が87人（24.3%）、20代が53人（14.8%）となっている。

65歳以上の高齢加害者は75人（20.9%）となっている。

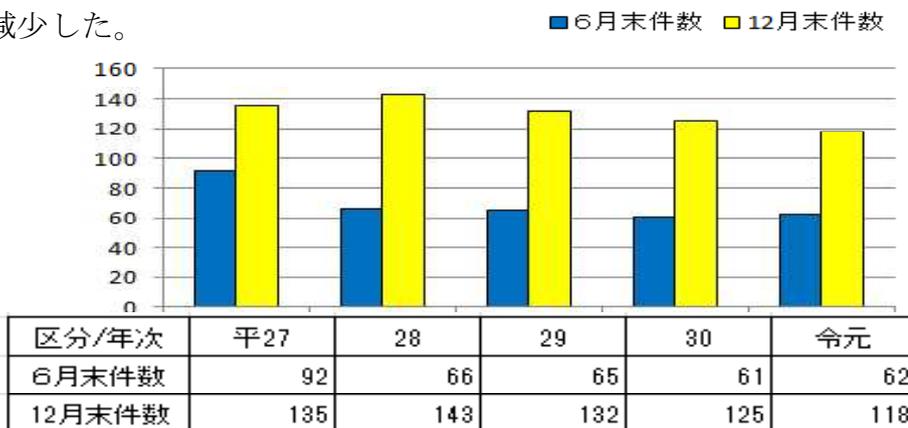


総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上
358	1	53	87	89	38	15	75

2 ストーカー事案

(1) 認知件数

ストーカー事案の認知件数は118件と、前年より7件（5.6%）減少した。



(2) 対応状況

ストーカー規制法検挙は10件と、前年より1件（11.1%）増加した。他法令検挙は7件と、前年より1件（12.5%）減少した。

(他法令検挙)

銃刀法1、住居侵入3、脅迫2、児童ポルノ法1
警告は29件と、前年より7件（31.8%）増加した。
禁止命令は4件と、前年より13件（76.5%）減少した。



(3) 行為態様

行為態様別は、1号の「つきまとい行為」が74件（33.8%）、3号の「義務のないことの要求行為」が61件（27.9%）であった。

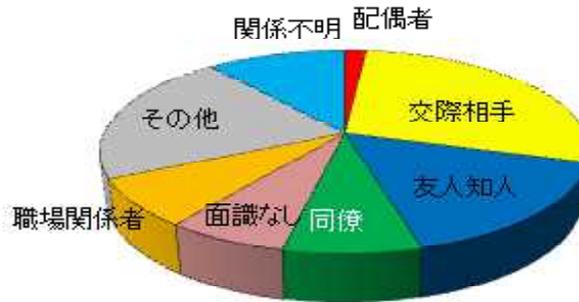
総数	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
219	74	15	61	13	32	5	6	13

※ 複数計上のため、認知件数より多い

1号 つきまとい、待ち伏せ、押し掛け、見張り、うろつき	5号 無言電話、拒否後の連続電話・メール等
2号 監視していることの告知	6号 汚物等の送付
3号 面会、交際等義務のないことの要求	7号 名誉を害する行為
4号 粗野又は乱暴な言動	8号 性的羞恥心を害する行為

(4) 関係別

被害者と加害者の関係は、交際相手（元交際相手も含む）が33件で、全体の28.0%を占めている。



総数	配偶者	交際相手	友人知人	同僚	面識なし	職場関係者	その他	関係不明
118	2	33	19	9	8	9	25	13

(5) 年代別

ア 被害者

被害者の年代別は、30代が35人（29.7%）、20代が34人（28.8%）、40代が17人（14.4%）となっている。

65歳以上の高齢被害者は3人（2.5%）となっている。

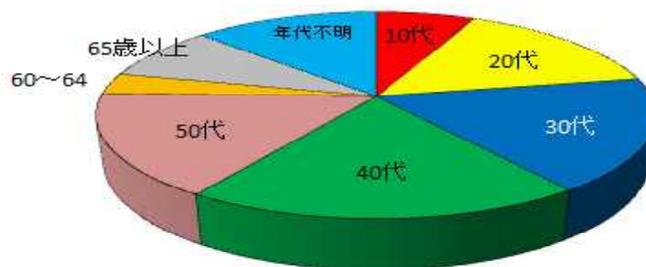


総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上
118	13	34	35	17	13	3	3

イ 行為者

行為者の年代別は、40代が23人（19.5%）、30代が21人（17.8%）、50代が19人（16.1%）となっている。

65歳以上の高齢行為者は10人（8.5%）となっている。



総数	10代	20代	30代	40代	50代	60~64	65歳以上	年代不明
118	8	18	21	23	19	4	10	15